

## 志高く、夢を拓げる年に！

先日、都道府県対抗女子駅伝大会が京都で行われ、鹿児島県チームは7位と3年ぶりの入賞を果たしました。私もテレビを食い入るように見ながら最後まで応援しました。特に8区を走った本校の橘のんさんがテレビに映し出され、7区の選手からタスキをもらう時には「今からだ、前を追い、いけるぞ！」と声援を送り、9区のアンカーにタスキを渡す時に「よし、よく頑張った！」とテレビに声をかけていました。本人の区間での成績も7位と堂々入賞でした。今回の鹿児島県チームには日本を代表するエース級の選手はいなかったようですが、それぞれが自分の力を出し尽くし自分の役割を果たしたの結果ではなかったかと思います。帰校した橘さんは「沿道の声援を受けて楽しんで走れました。将来はスポーツが好きなのでスポーツに関係する仕事か、本が好きなので図書館の司書にも興味を持っています。」と語っていました。



また、3年生の面接練習では、「自然と街が融合してもっと住みやすい霧島市にしていきたい。」「ウキウキするようなショッピングモールをつくりたい。」など将来の志、目標を語る生徒がいました。素晴らしいことだと感心しました。志を立てることは簡単なことではないかもしれませんが、最初は些細なことでもいいですから、自分の生きる目標を見つけしてほしいと思います。年を重ねたり、環境が変わったりすることによって、新たな志が見つかるかもしれません。やがては、高い志を持ち、あきらめないうで、努力することによって、夢が拓がり、未来は明るいものになります。たとえ、夢が叶わなくても、お金で買うことのできない経験や多くの出会いにつながり、あなたの人生を必ず豊かにしてくれるはず。大切なのは毎日の積み重ね、つまり、日々チャレンジし続けることです。

年の初めからラッキー7と同時に勇気と感動をもらい、今年の舞鶴中の生徒の活躍を大いに予感させるものになりました。舞鶴中の生徒一人一人が志を立て、夢を拓げ、その実現に向けて努力し続ける年にしてくれることを願っています。